

寺嫁の
つぶやき
...

△前号の続き▽

癌の宣告をされるまで私は何の根拠もなく、きつと長生きするのだろうな〜と思っていましたが、その瞬間に今まで遠くにいた死が急に近づいてきました。そして生まれて初めて「私は生きたい!」と強く思ったのです。今まで当たり前だった日常がどれだけ大切で有り難いものだったかを痛感しました。生きているだけで有り難いと…。

検査の結果、部分切除の手術と点滴による抗がん剤治療を行うことになりました。術後は傷の痛みがあり、抗がん剤治療は全身が痛くて起き上がれず、布団で過ごす時間が多くなりました。ようやく体が楽になってきたかと思うとまた抗がん剤を点滴するという繰り返しでした。次第に全身の毛が抜け始め、抜け毛をみるのが辛く自ら丸坊主になりました。丸坊主にして落ち込んでいた私に住職が「せっかく坊主頭にしたのだから、坊主を楽しんだ方がいいよ!」と言ってくれました。この一言で目から鱗が落ち、涙の坊主頭から、よし楽しんでやるぞ!というワクワク感に変わりました。

手術と抗がん剤は辛いのですが、生きていることの有り難さを実感したお陰で、辛いけれどもこれは生きている証拠なのだと思うと、辛い治療にも耐えられ心穏やかに過ごすことができました。元気な時は些細なことでイライラし怒っていましたが、病気のお陰で全てが感謝の対象になっていった気がします。しかし、残念ながら治療を終え徐々に元氣になってくると、穏やかな気持ちの遠のき、以前のイライラ、プンプンの自分に戻ってしまいました。(闘病中は生きることに対して最も謙虚でいた時間でした)



一番右が坊主頭の私です

病氣自体は歓迎するものではありませんが、癌は私に沢山のことを教えてくれました。この病氣にならなければ分らなかったこと、気付かなかったことが沢山あります。日蓮大聖人が「病によりて道心は起こり候」と言われたお言葉に身が染みて実感することができました。そんな病を経験した私から一言。病氣や事故は突然やってきます。だからこそやりたい事があつたら先延ばしにせずに行動しましょう。誰かが言っていた「今でしょ!」です。普段の日常を今日も一日有り難しと思う、お互い様過ごしてまいりましょう。

Shoudouji News

唱導寺だより

第8号
2025.6月

我身は凡夫なれども
ただ一心に仏を念じ
身命を惜しまず
南無妙法蓮華經

日蓮宗
延宝山

唱導寺

唱導寺公式LINE 開設しました!!

お寺の情報発信をしていきますので、是非ご登録ください。
併せて唱導寺Instagramも開設しました。
唱導寺の行事や日常を投稿していきますので暇つぶし程度に見てください。



当寺の夜桜を 月とともに 愛でる。

今号の一枚



唱導寺では桜のライトアップをしています。唱導寺の白屏と桜と月の一枚です。

今号の言葉

「眉は近けれども見えぬ
自らの過ちを知らず」

眉毛は目の一番近くにあるのに、肉眼で直接見ることは不可能である。同じように、私たちは他人の悪行や過失はすぐに目につくが、自分の悪行や過失は自らの身体で行ったことなのに気付かないものである。自分の眉毛を見るには鏡が必要のように、自らの行いを正すには明鏡(正しい教え)が必要である。

唱導寺だより 第8号

発行 ◆ 令和7年6月 ● 日

発行者 ◆ 日蓮宗延宝山 唱導寺
住職 菅野 海應

神奈川県横浜市港南区日野中央1の6の34
電話:045(842)2955
FAX:045(841)9600

www.shoudouji.org/



かんじょう
唱導寺勸請の菩薩様・神様紹介 **その3**

ほけきょう ぎょうじゃ おうこ
**法華経行者雍護
鬼子母大善神**

日蓮宗でご祈禱を行う時に
ご守護をいただく神様です。
仏教で神様?と思われるかも
しれませんが仏教には沢山の
神様が登場します。法華経の
中で鬼子母神様は末法の世
で法華経を信じる者を守りま
すと誓願をします。海睿上人が修行を重ねた日蓮宗
大荒行堂の読経堂には二メートルを超える大きな鬼
子母神様が鎮座されており、唱導寺ご宝前にも鬼子
母神様をお祀りしております(本堂の御本尊に向かっ
て一番左側)。唱導寺の鬼子母神様は鬼形ですので
少々怖い顔をしており、鬼面仏心をもって人々を守
ってくださる尊形です。



祈願成就の力

法力 お題目・法華経のお力

仏力 仏様・神様のお力

信力 信じる力・信仰の力

以上の三力が揃った時に願いは叶うと言われてい
ます。その中でも大切なのは三番目の私たちの信じ
る力です。何かを志した時、揺るぎない信をもって、目
標に向かい最大限の努力をした時に神仏の御加護
が顕れます。

唱導寺護持会員募集

唱導寺には「護持会」という、お寺を守る会があります。
会費はお寺の修繕費や御会式での奉納金等に使われて
います。皆さまに気持ちよくご参拝いただけるお寺であ
るために、是非皆さんのご入会をお待ちしております。

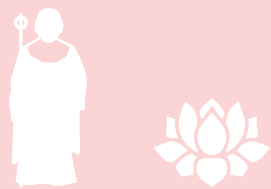


**入会金1万円
年会費5千円**

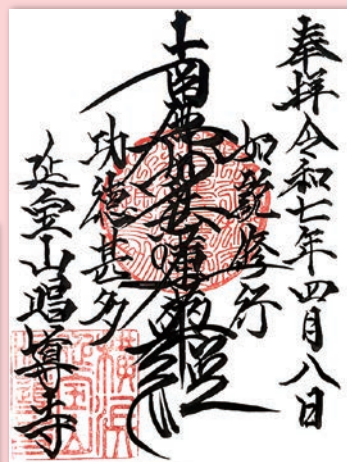
信仰の証し
護持会員輪袈裟

ご首題帳とご朱印帳
数年前から唱導寺にも「ご首題をくださ
い」「ご朱印をください」という参拝者が
いらっしゃいます。日蓮宗の坊主としては
「ご首題ください」と言われたほうが嬉し
いです。この人分かつてるね!と思ってい
ます。皆さんは「ご首題」と「ご朱印」
の違い知っていますか?
ご朱印とは言葉の通り朱肉で押した印で
す。最近では凝って字や絵など色々と書い
てあるご朱印がありますが、あくまで中心
は朱肉で押した印なのです。それに対し
「ご首題」とは、日蓮宗では南無妙法蓮華

経の御題目のことです。ですので「ご首題
帳」と「ご朱印帳」は似て非なるもので
す。私は小僧のころに指導をいただいた先
生に、色々なお寺や神社のご朱印が押され
ている「ご朱印帳」にはご首題は書いては
いけないと教わりました。以来ご朱印帳を
出されたときは御題目以外のお経文などを
書くようにしていますが、そのような日蓮
宗のお坊さんは多いです。そのため「ご首
題帳」と「ご朱印帳」は分けたほうが良い
でしょう。
本山などではご朱印帳を受け付けないお
寺がありますので、日蓮宗徒としては是非
「ご首題帳」を作りましょう。



こちらはご朱印帳



お題目が書かれたご首題帳



帰山奉告式で行われた水行の様子

夜が明けぬ午前二時半に起床し、法水に身
を清めること一日七度。最低限の食事と睡眠
の中で読経三昧に入り、自らを修法師として
蘇生させる為の修行です。過酷な修行ゆえ入
行した僧侶が全員無事に成満できることはほ
ぼありません。そのような中、海睿上人は強
い信念の下で日々の荒行を重ね、仏天のご加
護と檀信徒各位の外護のお力をいただき、本
年二月十日寒老百日の荒行を修め無事に出行
することができました。



法華経寺での入行会。いざ荒行へ

二月十六日に
は沢山の檀信徒
の皆様、有縁の
皆様のお出迎え
をいただき唱導
寺本堂において
帰山奉告式を執
り行うことがで
きました。
これからは唱
導寺にて檀信徒
の皆様、有縁の
皆様の為に体得
した修法を行い、皆様が良き方へと歩めるよ
うに祈ってまいります。



帰山奉告式での祈り
壹百日の荒行を修め帰ってまいりました
大いなるご恩に感謝申し上げます



鬼子母神様と共に唱導寺帰山



出行後法華経寺での練り行列



荒行成満を祝う帰山旗

唱導寺副住職 菅野海睿上人
日蓮宗大荒行堂第初行成満

令和六年十一月一日より千葉県
市川市にある日蓮宗大本山法華経寺
で開設された大荒行堂に、副住職海睿上人が
入行いたしました。日蓮宗の大荒行堂は日本
仏教宗派の修行の中でも特に過酷な修行と言
われています。